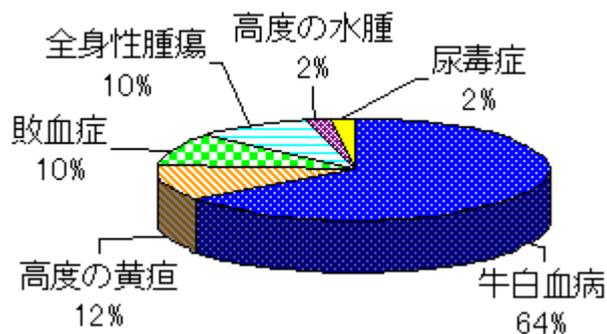


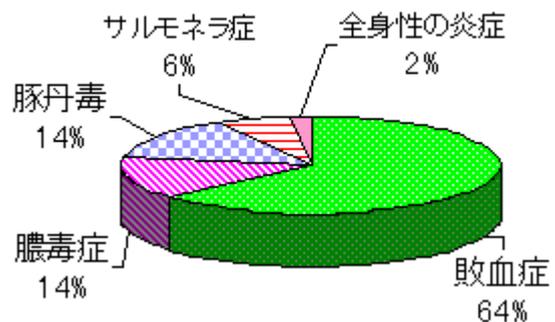
平成23年度の全部廃棄状況

福岡市食肉衛生検査所では、平成23年度に牛を20,514頭、豚を134,001頭検査しています。そのうち、一部廃棄となった牛は14,092頭、豚は91,131頭あり、全部廃棄となった牛は51頭、豚は63頭でした。全部廃棄理由として最も多い疾病は、牛では牛白血病(33頭)、豚では敗血症(40頭)でした。

牛の全部廃棄理由

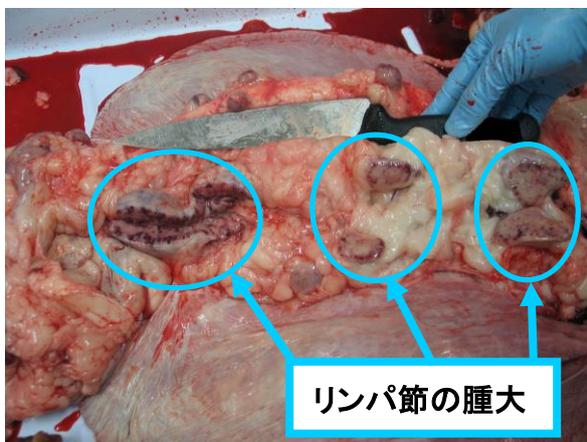


豚の全部廃棄理由



牛白血病

リンパ球の悪性腫瘍(いわゆる“がん”)で、アブの吸血等により牛白血病ウイルスに感染した牛の数%が発症します。発症した牛には、削瘦、眼球突出、全身リンパ節の腫大などの症状がみられます。生体検査時に発見された場合はとさつ禁止に、解体後検査時に発見された場合は全部廃棄になります。



敗血症

種々の細菌の感染による全身性炎症反応(発赤、腫脹など)を伴う疾病。感染による病巣から細菌が血液中に持続的に送り込まれ、全身汚染を引き起こします。下の写真は心臓の弁に形成された疣状病変を示しています。敗血症を発症した豚で最もよくみられる病変です。

